

予備1等陸佐6名へ辞令書交付

埼玉地本（本部長・山野正志1等空佐）は1月20日、埼玉地本本部において、昨年12月15日付で採用になった予備1等陸佐に対して辞令書を交付した。1等陸佐の予備自衛官採用は、昨年8月に1名、今回が7名で、合計8名となった。

当日辞令書の交付を受けたのは都合により参加できなかった1名を除いた、河本俊哉予備1等陸佐、本田幸之助予備1等陸佐、水上義仁予備1等陸佐、重久幸司予備1等陸佐、鷲尾英樹予備1等陸佐及び下石佳顯（よしあき）予備1等陸佐の計6名。辞令書交付後、山野本部長は「8名もの予備1佐が所属する地方協力本部は他に類をみなく、大いに責任を感じている。一朝有事の際には、間違いなく皆さんの力を借りることになると考えられるので、体力や職能の維持に努めていただきたい。」と激励すると予備1等陸佐らは、「退職後に更なる国のために尽力できる機会を与えられたことを光栄に思う。勤務先の理解を得ながら訓練に参加し、体力・気力の維持に努めたい。」と語った。

我が国を取り巻く安全保障環境や予想される大規模災害を踏まえ、予備自衛官等制度にはこれまで以上の充実が求められている。予備1等陸佐には現役時代に培った職能を活かし、有事の際には指揮官又は陸上総隊や方面総監部等の幕僚としての活躍が期待されている。予備1等陸佐は、来年度以降、招集訓練として指揮所演習や検閲に参加し、指揮官や幕僚としての職務能力を維持、向上させることになる。

なお、河本予備1等陸佐らは、辞令書を受領した後、同時に埼玉地本で行われていた予備自衛官1日間招集訓練の予備自衛官制度の説明を聴講し、予備自衛官制度の運用の実際等を確認していた。



新座柳瀬高校の進路懇談会を支援

埼玉地本（本部長・山野1空佐）朝霞地域事務所は2月15日、埼玉県立新座柳瀬高等学校の進路指導の一環行事である「卒業生を囲む会」を支援した。この行事は、現在2年生の生徒と各業種に就職した卒業生による進路懇談会で、学校の伝統行事となっており、自衛隊からは昨年度同校を卒業した鈴木龍1陸士（滝ヶ原駐屯地普通科教導連隊）、上倉孝二郎1陸士（滝ヶ原駐屯地部隊評価評価支援隊）の2名が参加した。

先生が司会進行役を務める中、在校生が各業種の卒業生に対して質問する形で行われ、2名の隊員には、自衛隊を志願した動機をはじめ、仕事内容や職場環境・生活環境など様々な質問が挙げられた。参加した二人はそれらの質問に一つ一つ丁寧に答えつつ、自衛隊の魅力を伝えていた。

今回、鈴木1士は戦闘服、上倉1士は新制服を着用して参加し、先生や在校生からはその姿に歓声が上がるとともに、「かっこいい、自分も自衛官になりたい」などの話もあった。二人は、先生や後輩達と一緒に写真を撮るなどして広報活動を積極的に実施し、募集活動に貢献していた。

朝霞地域事務所は、「今後も母校訪問等の場を活用して自衛隊の魅力を伝え、一人でも多くの生徒に自衛隊を志願してもらえるよう懇切丁寧に学校及び生徒に寄り添っていく」としている。

